

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	かさでらのまち編み
ま ち づ くり 活 動 名	まちを編んでニューズペーパー紙を発行する+まちを編んでおみやげをつくる+エリアマップ作り
活 動 地 域	名古屋市南区笠寺町
活 動 の 背 景	・笠寺エリアで継続的に行われてきた「まちづくり活動」について、地域内外の人(関係人口?)に十分に知られていないことがナゴヤ商店街オープン(名古屋市地域商業課の商店街商業機能再生モデル事業)のワークショップの過程で判明した。 ・笠寺エリアの現状のまちづくりに欠けているのは「発信力」と考えた。そこで、活動実績や地域資源を「発信」する力を備えることが、まちづくりの次のステップに不可欠であると考えた。
目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください) ■目的 ・まちの情報を編集し、発信力を高める ■目標 ・季刊誌としてニューズペーパーの発行 ・地産地消の「お土産」販売 ・まちを編む活動をきっかけとして、UDC 設立へつなげたい ■成果 ・専門的な取材・編集能力を活用し、魅力的な情報コンテンツを来街者と住民に届ける。 ・まちのストーリーが伝わるような「お土産」をデザインし、まちの付加価値を高める。 ・来街者の意見を収集する受け皿とし、まちの人にも新しい声を届けることで、シビックプライドの醸成を図る。 ・シビックプライドの向上、日常の豊かさを醸成する一助となることを目指す。
活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) ▼ローカルメディア(ニューズペーパー)の編み方 <pre> graph LR A[まちから集めて 情報の集積] -- 記事紹介 まちアーカイブ --> B[まちを編む 編集] B -- 恒常的な ファン獲得 --> C[ひとを集めて 来街の促進] </pre> 具体的な流れ 額縁型集約ポスト ★ まちの声集約マイク ★ 取材対象が見つかった! 取材・編集・掲載 面白いネタ SNS、外壁★で公開 (原則不定期 オモロネタ次第) アーカイブを壁に蓄積 ★ 空き家空き店舗 活用に広告主と 連携 集約ポストや集約マイク:活動エリアにある複合施設内での設置を目指しています。 アウトプット媒体:SNS 公開の他に、紙媒体としてのニューズペーパーを発行します。 ▼おみやげの編み方 ① 原材料は「人」 一つ一つの商品に込めたストーリーを伝えるお土産をつくる。 商品の原材料は突き詰めると「人」。どんな人がどんな活動や思いがあって笠寺の地域資源と関係しているのか。関わっている人のインタビューを動画や記事にし、小ネタコンテンツとして届けます。 ② 端材の価値をデザインする 一部の商品は、端材などを使ってデザインします。製造者、活動者さんと連携して端材を譲り受け、お土産としてデザインしていきます。

	<候補の端材たち> ・レーザー加工の端材、試作端材 ・店舗づくりで生じた産廃 ・刺繍糸の切れ端 ・布の切れ端 ・商品価値を過ぎた生花	
活動予定期間	2024 年 6 月 ～ 2025 年 2 月	
助成金交付申請額	50,000 円	※1 回目(上限 5 万円) ※2 回目、3 回目(上限 10 万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・地域に特化した小さなメディア媒体となることで地域住民とつながりを持ちつつ発信を行う。 ・地域のことを知り、広報する活動を通して地域住民自身がまちの魅力を再認識し、維持・拡大する契機とした い。 ・ニューズペーパーの発行費用やお土産の取材費、ラベルデザイン等に活動助成金を有効に活用したい。 ・地域の魅力や人の魅力を伝える「まちを編む」理念を大切に、地域に対する愛着や共有の輪を拡大してい きたい。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的にになっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・地域活動の専門家を中心に、デザイン・広報、取材・写真を専門とするメンバーで活動する ・メンバー以外にも近隣住民や商店街店舗跡継ぎ、新規出店者が参加し、未来のまちについて語り合う編集会 議を開催している。 ・助成金を超える部分については、エリアマップ作成受注費などを用いる予定。 ・地域の他のまちづくり団体(かんでら monzen 亭)や笠寺観音商店街、地元企業(名鉄エリアパートナーズなど) と連携し、打合せを重ねている。	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) ・今後展開されるまちづくり活動の広報媒体とするだけでなく、過去の活動との関連性を示すことで、まちの物語を 編むことを目指す。 ・ニューズペーパーの発行、おみやげの開発援助を継続的に行うことで、情報や商材を蓄積する。 ・おみやげに関わる人との交流会や体験会などを開催し、来街者を増やす。 ・シビックプライドの向上、日常の豊かさを醸成する一助となることを目指す。 ・編集というデザイン視点を通すことでまちのブランドイメージ向上を目指す。 ・まちを編むという理念のもと、情報の収集・蓄積による地域内ネットワークの強化、まちについて語り合う機運の醸 成を通して、来る名鉄線路の高架工事に備えた UDC の設立を目指す。	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場 合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
笠寺観音商店街 名鉄エリアパートナーズ マチ・スタンド motokasa 名古屋市地域商業課	活動開始を応援いただいています 活動開始を応援いただいています 活動拠点として区画利用させていただく計画 ナゴヤ商店街オープンとしての関わり

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2024	4	編集会議	店舗づくりから派生し編集部発足
	5	申請書提出 編集会議	関係メンバーによる編集会議
	6	助成決定後打合せ	メンバー内で今後の具体的な打合せ
	7	広報・取材開始 お土産開発会議開始	活動のチラシ作成と地域への周知
	8	お土産試作製作	5 商材程度（製作は実費）
	9	広報・取材 お土産試作製作	
	10	ニューズペーパー① 発行 お土産テスト販売	1500 部発行 マチ・スタンド motokasa にてテスト販売
	11	広報・取材 お土産テスト販売	
	12	広報・取材 お土産テスト販売	
2025	1	広報・取材 お土産テスト販売	テスト販売結果をデータ化
	2	ニューズペーパー② 発行 活動報告へ向けて準備	1500 部発行 活動振り返りと活動実績報告書の作成
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出(予算)をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金(申請金額) ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額: 1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	物品費		団体紹介用ステッカー名刺 200部	5,000
	消耗品費		コピー用紙、インクカートリッジ、 付箋などの事務用品	5,000
	印刷製本費		2回発行 両面4色A3サイズ 合計3,000部 45,000円	45,000
支出合計				55,000

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。